

第1回まちづくり戦略セミナー

⑤0 定住促進

- これからの定住促進について考える。
- 他の自治体の定住促進につながる地域振興の成功事例を知る。

日 時：令和4年7月29日（金）13：30～16：30

会 場：佐賀県市町会館3階 大会議室

対象者：全職員及び一般の方（定員 50名）

〈研修内容〉

1. 自己紹介
2. 会社紹介
3. 事例紹介
 - ①山梨県小菅村
 - ②山形県河北町
4. 定住促進の考え方
5. 意見交換

「すべての人がふるさとに誇りを持ち、ふるさとの力になれる社会」を目指し、「分散型ホテル」経営、「観光プロモーションブランディング」等をはじめ、多くのプロジェクトを地域伴走型で展開している「さとゆめ」。

地域に伴走し続ける立場から見た、これからの自治体に必要な定住促進策についてお話し頂きます。



講師：さとゆめ 代表取締役社長 嶋田 俊平氏

京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修了。大学院修了後、環境系シンクタンク・株式会社ブレック研究所に入社、新規部署「持続可能環境・社会研究センター」の立上げに参画し、地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの事業計画立案等に従事。9年間の勤務後、2013年に株式会社さとゆめを設立（登記は2012年）。「ふるさとの夢をかたちに」をミッションに、地方創生の戦略策定から商品開発・販路開拓、店舗の立上げ・集客支援、観光事業の運営まで、一貫通貫で地域に伴走する事業プロデュース、コンサルティングを実践。2018年、ホテル開発・運営会社株式会社EDGEを設立し、代表取締役に就任。2019年8月には、山梨県小菅村に、「700人の村がひとつのホテルに」をコンセプトとした分散型ホテル「NIPPONIA 小菅 源流の村」を開業。その他、山形県河北町の地域商社・株式会社かほくらし社、人起点の地方創生を目指す株式会社100DIVE、JR東日本との共同出資会社・沿線まるごと株式会社の代表取締役も兼務。

第2回まちづくり戦略セミナー

⑤1 イタリアの農業と食育を学ぶ

- イタリア プーリア州の食育を通じた農業・観光振興策を学ぶ。
- 佐賀県産食材としての可能性を探る。

日 時：令和4年10月27日（木）15：30～17：30

会 場：ホテルニューオータニ佐賀 鳳凰の間（予定）

**対象者：首長等、市町職員、事業者、農業生産者、学校関係者、
観光協会等食育に携わっているもしくは興味のある方
（定員 100名）**

**※セミナー終了後（17：30～18：30）、同会場にて
「佐賀県産食材を利用したプーリア料理を囲む懇親会」開催予定**

プーリア州の食育事業は、農業者の収入向上を目的に「マッセリアディダッテカ」の名称で実施。

「マッセリアディダッテカ」は農業者が主体となることで、この土地に根付く食文化を推進していくことが根幹にあり、そこに農業者それぞれの個性が溶け込み、今ではプロモーション効果やツーリズムとしての経済的波及効果が顕著となっている。

現在では、イタリアでは食育のロールモデルの一つとされている。



【セミナー講師】

イタリア プーリア州 農業・環境発展部責任者：
ルイーダ・トロッタ氏
〈プーリア州の食育事業の第一人者であり、農業部門
全体の責任者〉



【懇親会料理担当】

アンティキサポーリ オーナーシェフ：
ピエトロ・ジート氏
シェフ：アントニオ・ディヌンオ氏
〈イタリア人が最も信頼する格付誌「ガンベロ
ロッソ」で2000年から連続して最高評価を受けている名店〉